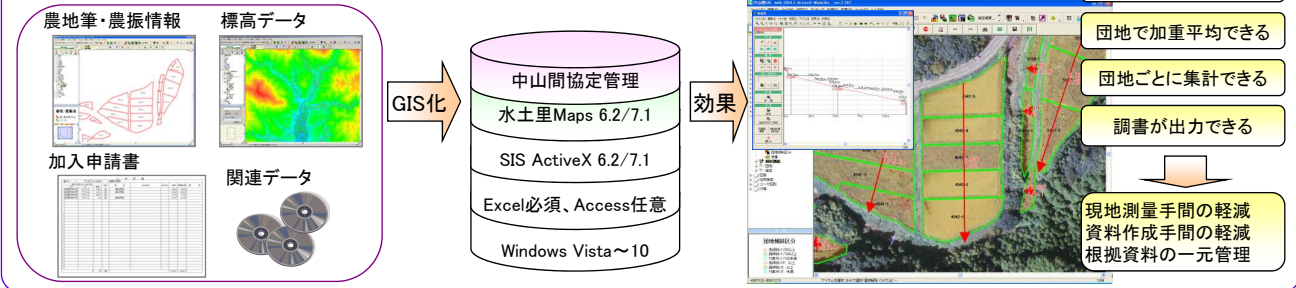


コンセプト

第3期中山間地域等直接支払制度では、傾斜計測結果などの根拠資料の必要性が増しました。この業務に対応するため、農地傾斜の計測、団地での加重平均計算、調書作成をGISで行い、現地測量の軽減と根拠資料の管理を行うことを目的として作成したオプションです。

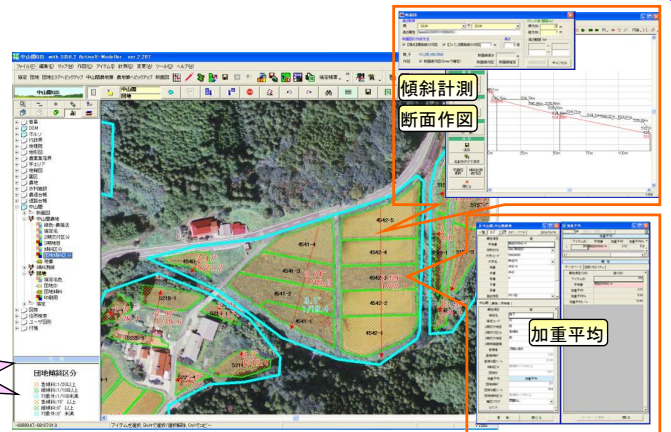


農地傾斜の計測

標高データをセットすれば、農地の標高や傾斜を任意の地点で計測できます。測定方向や測定範囲は任意に変更できるので、主傾斜の取り方をシミュレーションできます。計測結果や断面図は保存できるので、根拠資料の管理に役立ちます。

また、団地を設定すれば、団地内で傾斜度を面積加重平均し、急傾斜・穏傾斜・**超急傾斜**の判定も含めて自動計算します。

第4期対応



帳票出力

傾斜測定の結果を指定した帳票をExcel出力できます。申請資料作成や現地確認に利用できます。

対象農用地一覧

団地ID	農地ID	農地名称	面積	傾斜	判定
001	001	農地001	100	15	穏傾斜
001	002	農地002	200	25	急傾斜
001	003	農地003	300	35	超急傾斜

別紙様式1

団地ID	農地ID	農地名称	面積	傾斜	判定
001	001	農地001	100	15	穏傾斜
001	002	農地002	200	25	急傾斜
001	003	農地003	300	35	超急傾斜

現地確認野帳

団地ID	農地ID	農地名称	面積	傾斜	判定
001	001	農地001	100	15	穏傾斜
001	002	農地002	200	25	急傾斜
001	003	農地003	300	35	超急傾斜

団地調書出力

傾斜測定の結果をもとに団地毎の調書を自動作成します。この調書はExcelファイルとして残るので、根拠資料に利用できます。

団地調書

導入支援とアフターサービス

デモ、操作方法など、お気軽にお問い合わせください。

水土里Maps7.1の操作サポート(電話・メール)、不具合修正は基本価格に含まれます。(6.2は開発終了のため操作サポートのみ)
 水土里Maps7.1の機能追加やGISエンジンのバージョンアップ、それに伴う水土里Mapsのバージョンアップには別途費用が必要です。

定期的なデータ更新、操作補助、設定補助については、別途保守契約が必要です。

入力業務もやっています

推奨環境(スタンドアロン)

- CPU Intel Core2 Duo以上 (Corei3/i5/i7推奨)
- RAM (メモリ) 2GB以上 (4GB以上推奨)
- OS Microsoft Windows Vista/7/8/10 (64bit推奨)
- Office Microsoft Office 2007/2010/2013/2016 (64bit可)
- GISエンジン Informatix SIS ActiveX 7.1 SR3 (64bit可)

※扱うデータ量により、必要なHD容量は異なります。
 ※Windows 8~10 及び Excel 2013~2016で使用する場合は水土里Maps 7.1 (.NET版) 及び SIS 7.1 へのバージョンアップが必要です。
 ※水土里Maps7.1を64bit稼働させるためにはOS・Office・SISも64bitでインストールする必要があります。